

パナマに現地法人設立

オリコンサルグローバル

中南米発展の地盤構築

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、8件目の海外現地法人OCLATIN AMERICA CA (OCLATAM) をパナマ国パナマ市に設立し、6日にオフィスの開所式を行った。写真。資本金はUSD10万ドル、社長には石井亮平氏

が就任した。

開所式に先立ち米澤栄二社長は「パナマ国における『OCLATAM』の設立は中南米地域における事業拡大の一步であり、オリエンタルコンサルタンツホールディングスの一社として設立できることを嬉しく思っている



る。今後は現地の発展のため、雇用創出を図り、恒久的な幸せを追求、社会に貢献していける会社にしていきたい」と挨拶

した。

現在、オリエンタルコンサルタンツグローバルは中南米地域でニカラグア「リオ・フランコ・シウナ間橋梁・国道整備事業」、キューバ「全国運輸交通マスタープラン」、チリ「災害リスク削減のためのONEMI組織強化プロジェクト」などを実施している。

これまではプロジェクトごとに案件実施の体制

を整えてきたが今回現地法人を設立することで、現地技術者を長期的かつ安定した立場で雇用することが可能となるほか、各案件への支援体制を強化し中南米地域のインフラ整備、経済発展へより強く効率的に寄与できる地盤を構築することができた。今後はスペイン語、ポルトガル語人材を増やし、同語学圏でのさらなる市場拡大を目指す。